

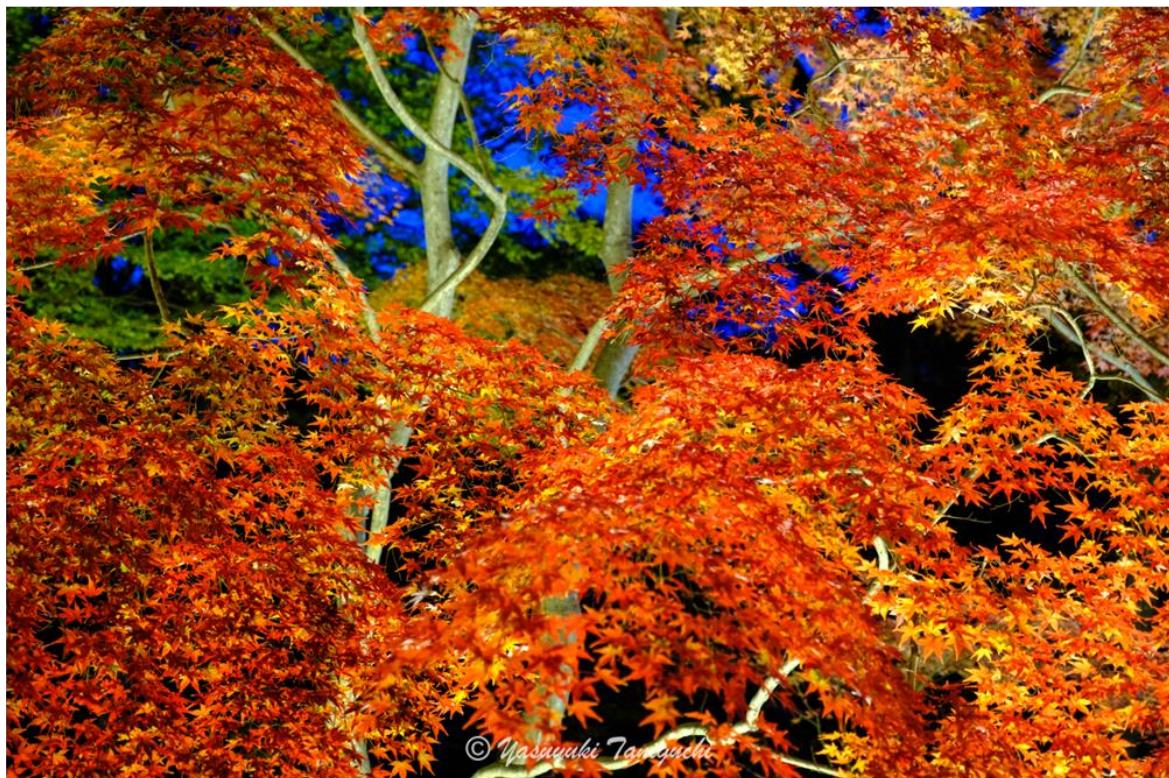
# 慈生会だより

社会医療法人慈生会 等潤病院／足立区一ツ家の第二次救急医療機関です

等潤病院・等潤メディカルプラザ病院・等潤メディケア事業部・介護老人保健施設イルアカーサ・法人事務局



2024 Autumn  
VOL 49  
ご自由におとりください



撮影：  
副院長  
谷口泰之

紅葉狩りは、日本独特の紅葉の楽しみ方です。最近はインバウンドで外国の方も日本の紅葉の名所を楽しんでいるようです。真っ赤な紅葉は、心躍る美しさですね。写真是、長野の月の石もみじ公園で撮影したものです。



診療科ページ  
はこちら

## 慈生会の「今」を伝える



社会医療法人慈生会等潤病院

脳神経外科

脳神経外科  
日本脳神経外科学会（専門医）  
日本脳卒中学会（専門医）

石井 康博



診療科ページはこちら

猛暑の夏が過ぎ去り秋も深まる寒露の候、日々昼夜の寒暖の差を感じるようになり、皆さまも健康が気になる頃かと思います。当院では季節の変わり目で崩しがちな体調をしっかりケアし、皆さまが元気にお過ごしになれるよう全力でサポートいたします。

昨年9月にオープンしました、等潤メディカルプラザは、地域の医療ニーズに応えるため設立された医療施設です。健康診断やリハビリテーション、専門的な医療サービスを提供しております。定期的に地域イベントや交流会を開催することで、孤立感の軽減やコミュニケーションの活性化に貢献し、温かい環境で利用者様が安心して生活できるよう努めております。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですので、疲れた時や体調が優れないときはこの機会にぜひお立ち寄りください。皆さまの健康維持に役立つ情報やサービスを取りそろえ、安心して受診できる環境を整えてお待ちしております。

等潤病院では各科において先進的医療を提供しておりますが、今回は私の専門領域である脳神経外科についてご紹介させていただきます。

当院の脳神経外科においては脳や神経系の疾患に対する高品質な医療を提供するため、最新の3テスラMRIと血管造影装置を用いた先進的な診断技術と治療法を導入しています。

高磁場の3テスラMRI装置は従来と比較し、より高解像度の画像を提供できます。特に脳腫瘍や脳卒中、神経変性疾患などの診断において、その精度は重要であり、脳の構造や機能を詳細に把握するための、強力なツールとなります。当院では、患者様に対して迅速かつ正確な診断を行うことができます。

治療に関しても、最先端の血栓回収治療に力を入れています。血栓回収は、カテーテルという細い管を血管に通して、血栓を直接取り除く方法です。脳卒中は迅速な対応が求められる緊急疾患であり、特に脳梗塞の場合、血栓を早期に除去することで患者様の予後を大きく改善します。当院では専門の医師チームが最新技術を用いて、最小限の侵襲で患者様の負担を軽減しつつ効果的な治療を実現しています。

「頭に少しでも違和感がある」「頭痛やめまいが続いている」といった症状がある方は、ぜひ当科にご相談ください。早期発見・早期治療が脳と神経の健康を守るために非常に重要です。早期に適切な治療を受けることで、命を救い生活の質を向上させることができます。当院では患者様一人ひとりに丁寧なカウンセリングを行い、治療方針について十分説明していますので、気になる症状があればお気軽に当科外来を受診してください。

## 等潤メディカルプラザ

1階：デイケア・デイサービス  
2階：健診センター・腎センター  
3階：緩和ケアセンター  
4階：有料老人ホーム

等潤メディカルプラザがグランドオープンし、早くも1年が経過しました。医療と介護の複合施設である通称

### 1F／等潤メディケア診療所

—— 特色を教えてください。

当診療所は、2023年9月に常楽診療所より移転し、在宅医療に特化した「等潤メディケア診療所」として生まれ変わりました。慈生会の理念「地域と共に生きる慈しみのトータルヘルスケア」実現のため、訪問診療を含む在宅医療・介護部門の中心的な役割を担っています。

当診療所の特殊性としては、法人内で電子カルテが共有されており、医師が患者様のご自宅から電子カルテにリモート接続することで、各部署に情報伝達がスピーディーに繋がる点です。そのため、訪問診療でも外来と同様に診療が継続できます。また、ご契約いただいている方は、緊急時いつでも電話対応いたします。入院が必要な場合でも、等潤病院と連携しているため入院での加療が24時間可能です。

—— 利用者様のご様子はいかがですか？

オープン当初、「常楽診療所から名前が変わっても、来てくれる先生や看護師さんは変わりないですよね？」など不安の声もお聞きしましたが、診療内容やスタッフは旧診療所より引き続き対応していますため、患者様やご家族には安心して診療を継続していただいている。

—— 職員の様子はいかがですか？

新棟へ移転し、新たな気持ちでスタッフ間での協力をより密に行いながら仕事に取り組んでおります。今後とも、良質な医療を提供してまいります。



理事長自ら  
地域の方々の  
ために、心を  
込めて対応し  
ます

—— オープンから1年ですが反響はいかがですか？

大学病院や近隣病院より、「等潤メディケア診療所の訪問診療は、等潤病院や緩和ケアセンターとの連携がとれており、自宅療養が困難となった場合も入院がスムーズ」「同じ事業所に居宅介護支援事業所・訪問診療・訪問看護があるため、全てをお願いできるので、大変助かります」などといったお声をいただいております。

—— 読者の皆さんにメッセージをお願いします。

住み慣れた地域の中で、安心して療養生活を送れるようにサポートできる体制を整えています。通院が困難となった場合でも、外来と同じように診療を継続することができます。

訪問診療、在宅医療をご検討の方やご家族の皆さまはまずは、お気軽にご相談ください。当診療所から慈生会全体で一人ひとりに寄り添った医療・介護を提供いたします。

“プラザ”にはさまざまな患者様・利用者様に足を運んでいただいております。

1年間に渡り、プラザ開設後の様子を施設のスタッフにインタビュー取材してまいりました。

等潤メディカルプラザ特集は、本号で完結します！そんな今月号では「等潤メディケア診療所」と「腎センター等潤」をご紹介いたします。



等潤メディカル  
プラザサイトは  
こちら

### 2F／腎センター等潤

—— 特色を教えてください。

以前は等潤病院で透析治療を行っており、ベッド数は10床でした。腎センター等潤となってからは30床へと増床いたしました。当センターは、3~4時間と治療時間が長い透析治療に対し、窮屈にならないように開放的な空間となっております。また、患者様のプライベート空間を保つために半個室での治療も可能となっており、さらに透析の患者様が重症化しやすいコロナやインフルエンザ等の感染症に関しては、個室での治療が可能となっております。そのため、ご本人だけでなく、周りの患者様も安心して治療が行える空間をご提供いたします。また、全てのベッドにテレビが備えられ、無料Wi-Fiも使用可能です。

透析治療では、体内的毒素を除去するために透析液が不可欠であり、特に水質が重要です。当センターでは毎月水質検査を行っており、超純粹透析液を使用することで、一層安全な透析治療を行っております。さらに、毎月レントゲンやフットチェック、血液検査に加えてシャント（透析のために作られた、動脈と静脈をつなぎ合わせた血管）の管理を行っております。それに伴うシャントエコーなどの検査も行っており、患者様一人ひとりに合った透析治療と、その治療に大切なシャントを、少しでも長く保てるように心がけております。身体の不調があった際は、等潤病院で受診・入院もできます。等潤病院でも入院透析を行っていますので、透析治療を継続的に行うことも可能です。一つの施設内で透析治療から検査・受診が完結できるところが、当センターの特色になります。

—— 患者様の様子はいかがですか？

「静かな空間だから落ち着きます」とご好評いただいている。さらに、健診センターが同じ階にあるため毎月の検査の際には「検査に行くまで楽になったわ！」とのお声も頂戴しております。また、治療に伴いベッドとリクライニングチェアが選択できるため、腰痛がある患者様からは「リクライニングチェアのおかげで、長い治療の時の痛みが減ったよ！」とのお声もいただきました。



—— 読者の皆さんにメッセージをお願いします。

腎センターでは、随時見学を行っております。「ご家族やお知り合いが人工透析を行っており、近場で透析できるところを探している」「祖父母や親戚が東京へ旅行に来る際の、透析施設を探している」等、身近な人や近所の方がお困りの時に、等潤病院の透析室が新しくなったよとお伝えしてくだされば幸いです。そして、是非一度腎センターの見学においでいただき、魅力を実感していただければと思います。



# #Jiseikai Doctors File



**富 義明 (とみよしあき) 医師**  
等潤病院 外科・消化器外科  
・腹腔鏡外科

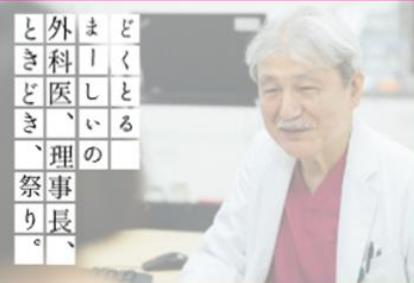
常勤

外来日  
月・金午前  
第3土午後

日本外科学会（専門医）  
Da Vinci Xi 助手認定資格  
内痔核治療研究会四段階注射法講習修了  
趣味：音楽フェス

「消化管外科を専門としています。主に腹腔鏡手術を得意としており、小さい傷で術後の痛みが少ない手術を行っているため、高齢化社会の現在において幅広い方が当院で治療を受けることが可能です。手術から抗がん剤まで幅広く診療しておりますので、どうぞよろしくお願ひします。」

等潤病院の公式Instagramでは、当院のことや健康に関するお役立ち情報、病院の最新情報をわかりやすく発信します。インスタグラムをお使いの方は、ぜひフォローや「いいね！」をお願いいたします。



**岡村 賢 (おかむらけん) 医師**  
等潤病院呼吸器内科・一般内科  
日本呼吸器学会呼吸器内科（専門医）  
日本内科学会総合内科（専門医）

趣味：テニス

「以前、COVID-19が流行時期に常勤医として勤務していました。また、地域診療に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。」

## 理事長コラム 健康のおはなし vol.6



## 介護保険を活用しましょう (その1)

コラム本文はこちら

PICK UP!



## 胃がん (ピロリ菌感染)



診療科紹介  
ページは  
こちら

ピロリ菌に感染すると胃炎が起こります。胃炎が進行するほど発がんの危険性が高まるため早期に除菌することが大切です。等潤病院では胃がん治療として内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）、腹腔鏡手術、薬物療法などにチームで取り組んでいます。

皆さま、ピロリ菌について聞いたことはありますか。1983年、オーストラリアの病理医がヒトの胃内に棲むこの菌を発見し、ノーベル医学生理学賞を受賞しました。1994年にはピロリ菌は胃がんの原因であるとWHO（世界保健機構）より認定されました。それから30年ほど経過した現在まで、胃炎の診療、胃がん検診、内視鏡診療、そして進行胃がん治療は目覚ましく変化しました。

ピロリ菌による胃炎が進行するほど発がんの危険も高まるため、診断された場合、すぐに除菌する必要があります。当院でも、内視鏡検査を行っており、その際はピロリ菌感染胃炎について注視して検査しています。ピロリ菌が除菌されるようになってからは、日本でも胃がんは減少傾向をたどっています。喜ばしいことですが、一方で、治療するには手遅れになってから発見される患者さんもいらっしゃいます。当院外科でも、胃がんの多様性を打ち負かす

べく、診療に取り組んでおります。

20年ほど前まで、胃がんの治療といえば開腹手術しかなかった時代でした。2000年頃になり内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)という早期胃がんの内視鏡的治療の黎明期が訪れました。当時、周りにはまだ誰もできる人がいない中で、勉強会へ参加したり練習をしたりすることで勇気をもって取り組んできたことを思い出します。今では当院でもESDを行っており、早期がんの段階で条件が合えば、とても負担の少ない治療になります。

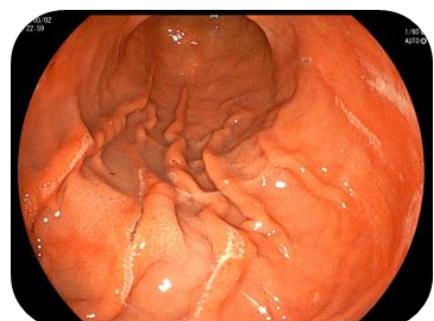
進行胃がんに対しては、腹腔鏡手術を中心に行っています。腹腔鏡手術は腹部に数箇所の小さな穴を開けて、その穴から腹腔鏡を挿入して手術を行います。手術時間は開腹手術と比較して長くなる傾向にありますが、創が小さいことや手術後の回復が早いため患者様に利点の多い手術です。患者様の負担がなるべく少なくなるよう心がけてチームで手術・治療に取り組んでいます。

文／外科一般・消化器外科 小関 啓太

小関副院長の外来／火（午前・午後）

治療の中では、薬物療法などもあわせて行なっています。新設された緩和ケアセンター等潤での診療も可能となります。

当院のトータルヘルスケアの理念の元、胃がん診療を提供しております。健康診断で指摘があった、気になる症状があるなどありましたら、お気軽にご相談いただけます。



ピロリ菌に感染した胃カメラ画像

PICK UP!  
plus



## 血液透析



診療科紹介  
ページは  
こちら

腎臓は体内の老廃物や水分を除去する役割を担っており、この機能が著しく低下してしまうと体内に毒素が蓄積し、体に重大な影響が起ります。腎臓の機能を人工的に補うための治療法が**血液透析**です。腎センター等潤は、定期的・長期的な治療を少しでも快適に過ごしていただけるよう、患者様に寄り添います。

血液透析は、慢性腎臓病等で腎臓の機能が著しく低下した際に行われる治療法の一つで、腎臓の働きを人工的に補う治療です。腎臓は、体内の老廃物や余分な水分をろ過し、除去する役割を担っています。腎臓が機能しなくなると、毒素や余分な水分が蓄積されていき、尿毒症・高カリウム血症・肺水腫等、命に関わる重篤な合併症を引き起こすおそれがあります。

血液透析で使われるのは、シャントと呼ばれる、動脈と静脈をつなぎ合わせて特別に作られた血管です。または、カテーテルと呼ばれるチューブ状の物を内頸静脈や大腿静脈に挿入し、血液を取り出します。そこから透析器と呼ばれる装置に血液を送ってろ過し、きれいにして体内に戻すというものです。

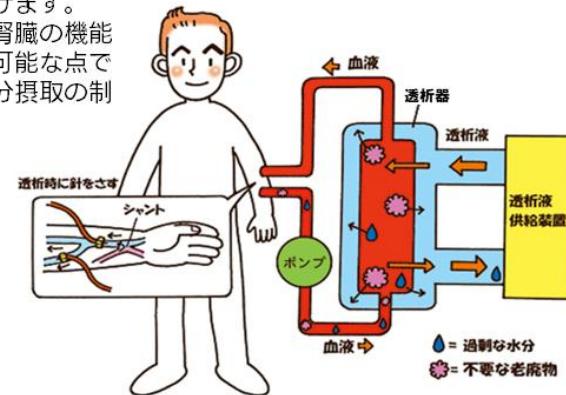
また、透析器は、半透膜という特殊な膜と透析液を使用、血液中の老廃物や余分な水分を除去すると同時に、体内の電解質バランスを調整します。

このようにして、治療は通常週に3回行い、1回の治療は、食事量・体の状態によりますが、約3~4時間かけて血液を透析器でろ過し続けます。

血液透析のメリットは、腎臓の機能が低下しても生命の維持が可能な点です。しかし、食事制限や水分摂取の制限、さらに透析治療に伴う疲労感や血圧の変動など、日常生活に影響を与えることもあります。また、治療を継続することで血管や心臓への負担が増大し、長期的には他の合併症を引き起こすリスクも考えられるため、多様な定期検査とご自

身の健康管理が最も重要です。

腎センター等潤では、皆さまの透析治療に対する不安やストレスを少しでも軽減できるよう心がけ、医師・看護師・臨床工学技士・栄養士とも緊密に連携しながら、一丸となって治療に対応してまいります。



## 慈生会の現場

JISEIKAI TOJUN PROFESSIONAL



看護部・介護部 副部長



金杉佳代子

看護部ページは  
こちら



看護師は療養上の世話や診療の補助を通じ、「人を見る」という独自のまなざしで、人々の生命と生活を支える専門職です。また、介護老人保健施設は医師をはじめとする看護師・リハビリ職・介護職等の多職種が手厚く在籍しており、介護を要する利用者様が在宅生活に戻れるよう、連携をとります。急性期から在宅期医療・介護にわたる本会の「トータルヘルスケア」を支えるスペシャリストの素顔にせまります。

## 金杉佳代子のこれまで ▶▶▶▶▶

私は生まれも育ちも東京都足立区、嫁ぎ先も足立区です。5人兄弟の4番目に生まれ、たくましく育ちました。

看護師を目指した理由ですが、父親が大工職人だったので、「自分も手に職を持つ仕事に就こう」と考えていました。白衣の天使に憧れて、と言いたいところですが、高校2年生の進路を決める時に担任の先生が「看護師さんは就職率100%よ」と言われ、何の抵抗もなく看護の道に進みました。

同級生の中では医療の道に進む人は少なく、看護の仕事もよく分かっていないまま東京都立広尾看護専門学校に進みました。実習や課題は大変でしたが看護学生時代は楽しかったです。卒業後は、公立学校共済組合関東中央病院の循環器内科・神経内科病棟、日本医科大学付属病院の脳神経外科病棟で

勤務し、多くの事を学びました。

結婚後、8年の子育てを経て地域の病院である等潤病院にて職場復帰をいたしました。

私が慈生会で働き始めてから、20年になります。働き始めたころの等潤病院は建物も古く、すでに病院と旧常楽診療所の在宅部門はありました。ここまで大きくなったのは現理事長・伊藤雅史先生が就任されてからです。

「地域と共に生きる慈しみのトータルヘルスケア」という理念を掲げ、医療と介護、両方の面から地域の人々を支えていくという考え方のもと、毎年重点目標を掲げて実現されてきました。そして、家族・知人にも勧めたい病院となりました。私が長く勤めてこられたのは、同じ考えのもと「一緒に頑張ろう」と言ってくれた仲間がいたからです。単独の職種のみでは良い医療の提

供はできません。チームで目標を共有し、患者様一人ひとりに最善を尽くすことが大切だと思います。それができるのが慈生会であると思います。

## 金杉佳代子のこれから

2023年から、介護老人保健施設イルアカーサの担当をさせていただき、介護についても学ぶ機会となりました。イルアカーサという言葉は、スペイン語で“家（うち）へ帰ろう”という意味です。当施設の理念も「家（うち）へ帰ろう」です。当施設では、“家（うち）”へ帰るため、リハビリテーションや学校式アクティビティである「おとの学校」を取り入れています。利用者様に元気でいてもらいたいという気持ちで、職員一同、頑張っています。

高齢者が増えて、少子化が進み、医療・介護の世界では圧倒的に人材不足となります。電子化・機械化が進んでいても、「人」に代わるものはありません。本会では、中学生・高校生の職場体験を受け入れています。若い世代は病院にかかったという経験が少ないので、病院・介護施設ではどんな職種の人がどんな仕事をしているか知ってもらいたい、少しでも医療・介護の世界に飛び込んでほしいという気持ちで職場体験を受け入れています。私も将来、介護される側になると想定し、どういう介護を受けたら嬉しいかを考えながら、看護・介護スタッフと共に患者様に接していくたいと思います。



# 外 来 受 診 表

受付時間 午前／8:45~12:00 休診日 日曜  
午後／13:45~16:45 祝日

等潤病院 内科系		月	火	水	木	金	土
内科	午前	谷口 呼吸器内科 一般内科	鄧 呼吸器内科 一般内科	谷口 呼吸器内科 一般内科	日下 消化器外科 一般外科	久野木 消化器内科 一般内科	岡村 呼吸器内科 一般内科
		鄧 呼吸器内科 一般内科	西島 呼吸器内科 一般内科	久野木 呼吸器内科 一般内科	大島 腎臓内科 一般内科	岡田 呼吸器内科 一般内科	木村 腎臓内科 一般内科
		阿部(大) 血液内科 一般内科		内藤 循環器内科 一般内科	佐々木 循環器内科 一般内科	齋藤 糖尿病内科 一般内科	永沼(※1) 循環器内科 一般内科
	午後	本田 循環器内科 一般内科			武内 呼吸器内科 一般内科		村田 呼吸器内科 一般内科
					松岡 循環器内科 一般内科		
		葛原 腎臓内科 一般内科	沖田 一般内科	岡村 呼吸器内科 一般内科	鄧 呼吸器内科 一般内科	岡村 呼吸器内科 一般内科	阿部(大) 血液内科 一般内科
等潤病院 外科系	午後	阿部(大) 血液内科 一般内科	久保田 呼吸器内科 一般内科	濱田 神経内科(認知症) 一般内科	大島 腎臓内科 一般内科	齋藤 糖尿病内科 一般内科	梅村 一般内科
		戸塚 呼吸器内科 一般内科	佐藤(英) 腎臓内科 一般内科		小野(啓) 呼吸器内科 一般内科		木村 腎臓内科 一般内科
			廣井 循環器内科 一般内科		佐々木 循環器内科 一般内科		
	午前				松岡 循環器内科 一般内科		

※1 第2,4週

等潤病院 外科系		月	火	水	木	金	土
外科	午前	西富	伊藤(雅) 小関	西渡邊	仁瓶	富鳩/渡邊秀 (※2)	交代制
		午後	渡邊	小関 山本	小野(宏) 竹中	仁瓶	富鳩/渡邊秀 (※2)
乳腺外科	午前	叶		叶		叶	
		午後	叶(健診)		叶(健診)	叶(健診)	
整形外科	午前	堀越	江面	大澤	山崎	小川(剛) 堀越	
		午後	堀越	江面	大澤 武内(俊)	小川(剛) 山崎	堀越
脳神経外科	午前	徳植	石井	徳植	石井	石井	徳植
		午後			田村		

※2 交代制のため、担当は直接病院受付にお問い合わせ下さい。

等潤病院 その他診療科		月	火	水	木	金	土
泌尿器科	午前			中村			
				中村		田中	松本(※4)
皮膚科	午前 午後	伊藤(聖)			伊藤(聖)		
				川口(※3)			
リウマチ科	午後		前嶋	前嶋	前嶋	前嶋	交代制
			久野木	高橋	小野(宏)	久野木	小関
放射線科	午前 午後				久野木	久野木	富
			小関		久野木	久野木	

※3 第2,4週 ※4 第3週

等潤メディカル プラザ病院		月	火	水	木	金	土
<small>※外來受付は等潤病院で承ります</small>							
癒やケア センター等潤	午前			患者サポートセンターにお問合せください			
健診センター 等潤	午前	梅村	梅村	梅村 小林	梅村	柳澤	國本
				梅村 小林	梅村 伊藤(雅)	柳澤	國本
腎センター 等潤	午前 午後	葛原	佐藤(英)	葛原	大島	葛原	木村

等潤メディケア 診療所		月	火	水	木	金	土
総合診療科 ※完全予約制	午前		宮崎			谷口	
訪問診療	午前		沖田/丸島	伊藤(雅)		山根	
			日下	丸島	中島	高岡	日下/山根

注) 学会参加等により、休診・代診や一部変更の可能性がございます。最新情報はホームページをご確認ください。

慈生会だより49号 2024年秋号 社会医療法人慈生会 広報委員会 〒121-0075 東京都足立区一ツ家 4-3-4 発行日:2024年10月1日



Jiseikai public health care  
corporation since 1981

ご予約・救急外来は

03-3850-8711

(病院代表)

患者サポートセンターは  
03-3850-7518  
(直通)

地域と共に生きる慈しみの  
トータルヘルスケア

社会医療法人慈生会  
等潤病院グループ

◆等潤病院

等潤病院サイト 看護部サイト



◆等潤メディカルプラザ病院  
等潤メディカル 健診センター  
病院ページ



◆等潤メディケア事業部

等潤メディケア 診療所ページ  
等潤メディケア 事業部ページ



◆介護老人  
保健施設  
イルアカーサ



◆法人事務局  
法人サイト



採用サイト



準備中

## 編集後記

3人の子育てに奮闘し、慌ただしくも楽しい毎日を過ごしています。子供にはどんなときも、みんなを笑顔にする不思議なパワーがあります。本誌では、皆さまがほっこりするような内容もお伝えしていきたいと思っています。皆さまにたくさんの笑顔が訪れますように！(看護部 下山聰子)

秋も深まり、食欲の秋が本格化してきました。松茸の土瓶蒸しや銀杏が美味しい時期ですね。新しいアイデアや見発をお届けするべく心を込めて制作に取り組んでまいりました。ごゆっくりお楽しみください。(放射線科 畑上千恵)

広報誌に関するご意見ご感想は  
是非こちらまでご連絡ください！



tojun-koho@jiseikai-phcc.jp